

夏の終わりのお願い

図書館の返却について

7月10日(月)～8月10日(木)の期間に貸出した図書館の返却期限は、8月24日(木)までです。

夏休み長期貸出期間中に本を借りた人はできるだけ早めに、7月以前に借りた本をまだ返していない人はすぐに返却してください。

借りた本を紛失したり、破損・汚損してしまったら、必ず断りに来てください。

8月25日現在、コンピューターでの貸出・返却の手続きができません。

復旧するまでの間は、次のように手続きをしてください。



【返却するとき】

返却する本は、返却BOXに入れるか、カウンターの上に置いておいてください。

※本が返却されたことを確認してから、書架へ返します。直接戻さないでくださいね！

【借りるとき】

必ず、カウンターに置いてある「図書貸出票」を記入して、借りていってください。

2学期の朝の読書は

9/4(月) スタート！

今回もクラスごとに集団読書用の図書館を配布します。

読みたい本が別にある人は、各自で用意しても差しつかえません。当日の朝、忘れずに持ってきてください。

ご用心

朝の読書の時間には、本を読みます。

次のものは読めません。

雑誌、コミック、教科書

限られた時間ではありますが、集中力を発揮して、充実した10分間を積み重ねていきましょう。

* ザ・ワーズ *

僕が本を読んでいて、おもしろいなあ、この瞬間だなあと思うのは、普段からなんとなく感じている

細かい感覚や自分の中で曖昧^{あいまい}模^も糊^ことしてい

た感情を、文章で的確に表現された時です。

自分の感覚の確認。つまり共感です。

又吉直樹『夜を乗り越える』

(小学館, 2016年刊)

より、引用しました。



ご報告

校内図書視聴覚委員研修会

8月3日(木)、校内図書視聴覚委員研修会を実施しました。

鶴岡市立藤沢周平記念館を見学し、八文字屋エビスヤ店にて、委員による、図書の選定を行いました。

藤沢周平記念館では、鶴岡に生まれた作家の生涯とその作品について学びました。

館内には、自筆の原稿や作品の構想メモ、出版された当時の本など、多数の資料が展示されていました。仕事場だった、自宅の書斎を再現したスペースや生前の映像を視聴できるコーナーもあり、作家の人となりにより身近に感じられました。

今回、藤沢周平について学んだことは、右の記事にまとめましたので、読んでみてくださいね。

書店での図書選定では、委員一人ひとりが「学校の図書館に必要な本」、「庄農生に読んでもらいたい本」を厳選しました。



今回選定された本は、配架できるようになったら、また改めて紹介します。

どうぞ、お楽しみに！

没後20年

藤沢周平を知っていますか？

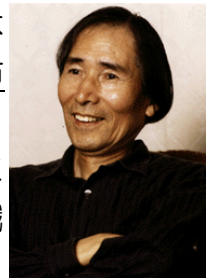
藤沢周平（1927-1997、本名：小菅留治）は現在の鶴岡市高坂に生まれた作家です。

教師として湯田川中学校に赴任するも、肺結核のため休職し、闘病生活を送りました。

その後上京し、業界新聞社で会社勤めをしながら、小説を執筆しました。

『暗殺の年輪』で直木賞を受賞してからは、作家としての活動に専念し、数々の時代小説やエッセイを発表しました。

（写真は文藝春秋ホームページより）



藤沢周平作品の紹介

図書館にある文庫本や全集で読めます。

武家もの

藩に仕える武士たちの生き方を描く作品。
代表作：『蝉しぐれ』、『たそがれ清兵衛』

歴史・伝記小説

歴史上の事実や人物を題材にとった作品。
代表作：『義民が駆ける』、『漆の実のみのる国』
『一茶』 10月、映画公開予定！

市井(しせい)人情もの

江戸・下町に生きる人々の人生を描く作品。
短編の作品が多く、初めて藤沢周平作品を
読んでみたい人におすすめ。

代表作：『橋ものがたり』、『暁のひかり』

雑誌バックナンバー放出祭 開催中

図書館中央のスペースに、雑誌『庄内小僧』と『Number』のバックナンバーを展示しています。ほしい号があれば、差し上げますので、ぜひ、お立ち寄りください。

